


## 世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題用紙は必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

2013年、<sup>(a)</sup>イエズス会士にしてアルゼンチン出身のベルゴリオ枢機卿が、フランシスコとして教皇に就任した。イエズス会出身者としても、南米出身者としても初めてのことである。布教活動や他宗教との対話に熱心な現教皇をはぐくんだイエズス会は、16世紀にアジアをはじめ世界各地に進出する。17世紀には、パラグアイからアルゼンチンにかけて数多くの村を建てて布教活動に取り組んだ。1767年にはいったんスペイン領アメリカを追放され、またフランシスコがアルゼンチン管区長を務めた<sup>(b)</sup>軍事政権期に困難な時を経験したものの、長年にわたるイエズス会の活動が同地における<sup>(c)</sup>キリスト教信仰のあり方に大きな影響を及ぼしたことは間違いない。

ところで、教皇フランシスコの名前は、アッシジの聖フランチェスコにちなむものとされている。裕福な商人の息子であったフランチェスコは、回心後、全財産を放棄し清貧の生活に入ることとなる。彼とその弟子たちの集団、フランチェスコ会は、<sup>(d)</sup>〔ア〕と並ぶ代表的な托鉢修道会として絶大な権威を誇る教皇〔イ〕を支え、俗人たちの信仰生活にも大きな影響を与えた。そして、近世におけるイエズス会のように、熱心な布教活動にも取り組んだ。そうしたフランチェスコ会士のなかには、〔ウ〕のように、元の首都大都にまで至り、同地で<sup>(e)</sup>大司教として没する人物もいた。なお、フランチェスコ会の布教活動は、近世に入っても継続され、1593年には、同会の宣教師ペドロ＝バプティスタが<sup>(f)</sup>フィリピン総督の使節として来日している。

こうしたフランシスコの名前と経歴により体現される教皇と布教活動の密接な関係は、初期キリスト教世界においても確認することができる。6世紀末から7世紀初頭にかけての教皇〔エ〕は、ゲルマン人地域での布教を推進することで、西方キリスト教世界内部における教皇の地位を上昇させた。この時期まで、ローマの司教座は、アンティオキア、イエルサレム、アレクサンドリア、そして〔オ〕<sup>(g)</sup>の司教座を含めた五本山のなかで突出した権威を有していたわけではなかった。7世紀以後、イスラームの勢力拡大によりローマと〔オ〕以外がその支配下に入り、両都市の権威が相対的に強化されたという面はたしかにあ

る。それでも、他の司教座に対するローマの首位権の主張に、最初の実質的な後ろ盾を与えた (エ) の貢献は大きい。初代教皇とされる使徒ペテロに始まる教皇権と布教の歴史は、以上のような形で現代にまで連綿と連なる系譜をなしているのである。

問 1 空欄(ア)～(オ)に入る最も適切な語句を答えなさい。

問 2 下線部(a)が誕生する契機となった、プロテスタントに対するカトリック教会の自己刷新運動は何か。

問 3 下線部(b)に関連して、1552年に中国で没したフランシスコ＝ザビエルの遺体は、翌年にインドのゴアに運び込まれたが、当時、この港市を支配していた国はどこか。

問 4 下線部(c)が崩壊するきっかけとなった、1982年のアルゼンチンとイギリスの戦争は何か。

問 5 下線部(d)に関連して、ベネディクト修道会の戒律を構成する「清貧」以外の基本理念を二つ答えなさい。

問 6 下線部(e)に関連して、イエズス会士カスティリオーネが設計に参加し、北京郊外に作られた清朝の離宮は何か。

問 7 下線部(f)に関連して、1571年に建設され、スペインによるフィリピン経営の拠点となった都市はどこか。

問 8 下線部(g)を拠点として、カルケドン公会議後に分離した単性論の立場をとる教会は何か。

問 9 下線部(h)が殉教したとされる迫害を行った人物は誰か。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

13世紀後半、ユーラシアではモンゴルの支配が広大な地域をおおい、「タターの平和」とよばれる政治的な安定がおとずれていた。しかし、14世紀になると、北半球で寒冷化が進み、自然災害が頻発して飢饉や疫病が増えていった。それにともない、モンゴル帝国内の各政権の支配は次第に動揺し、15世紀にかけて、ユーラシア各地で新たな王朝が成立した。

ユーラシアの東方では、紅巾の乱が起こり、そのなかで勢力を伸ばした  (ア) が明をたてて元をモンゴル高原へ追いやった。  (ア) は息子たちを北辺に王として配置し、モンゴルの再来に備えた。その一人であった燕王は、15世紀、皇帝に即位し、積極的な対外政策を進めた。これにより、明と周辺諸国との朝貢貿易はますます盛んになり、明を中心とする冊封体制が確立した。16世紀に入ると、モンゴル勢力が統合の動きを活発化させる一方、長城をこえた商業活動や移住も見られるようになった。そのような状況のなか、明は従来とは異なる経済・対外政策を採用していった。

ユーラシアの内陸部では、チャガタイ=ハン国のなかから  (イ) が勢力を伸ばし、王朝を建立した。  (イ) は、イル=ハン国滅亡後のイラン・イラクにも領域を広げ、オスマン朝をやぶったほか、北インドや明にも兵を進めた。この王朝の拡大と統治によって、イル=ハン国で花開いたイラン=イスラーム文化がユーラシア内陸部へも広がった。16世紀に入り、この王朝の国力が衰えると、イランでは、遊牧民を率いた  (ウ) がサファヴィー朝をたてた。

ユーラシアの西方では、15世紀、 (エ) のもとモスクワ大公国がキプチャク=ハン国の勢力圏から脱した。  (エ) は、東北ロシアを統一し、初めてロシアのツァーリを名乗った。16世紀に入ると、南ロシアもモスクワ大公国の支配するところとなる。やがて、ロマノフ朝が成立すると、ロシアはシベリアから中央アジアへと領域を広げ、それにともない、周辺諸国との衝突も見られるようになった。

問 1 空欄(ア)～(エ)に最も適切な人名を入れなさい。

問 2 下線部(a)のうち、チベットを統治した政権として最も適切なものを一つ選びなさい。

A. 元

B. チャガタイ=ハン国

C. イル=ハン国

D. キプチャク=ハン国

問 3 下線部(b)に関連して、明の冊封体制下に入ったマレー半島の港市国家は何か。

問 4 下線部(c)に関連して、15世紀の状況に関する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

A. 中山王に統一された琉球は、頻繁に明に使者を送った。

B. 朝鮮では、朱子学がとりいれられ、訓民正音がつけられた。

C. ベトナムでは、陳朝が明の制度をとり入れ、字喃(チュノム)をつくった。

D. 日本は、明への朝貢にともない勘合貿易を行った。

問 5 下線部(d)に関連して、北方勢力の侵入を防ぐために長城を建造した戦国時代の国を二つあげなさい。

問 6 下線部(e)に関連して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

A. 銀輸入の促進

B. 特権商人の保護

C. 一条鞭法の実施

D. 海外移住の奨励

問 7 下線部(f)について、この戦いを何というか。

問 8 下線部(g)はインドにも影響を与え、インド=イスラーム文化が成立する。  
その過程で徐々に発達し、現在パキスタンの公用語となっている言語は何か。

問 9 下線部(h)について、この方面で、イスラーム王朝をたててロシアと対峙し、19世紀後半以降にその支配下におかれた人々を何とよぶか。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

今日の世界は、人が、モノや資本とともに地球大に広がって移動する「グローバルゼーション」の時代といわれる。その始まりは諸説あるが、時に、15世紀から17世紀にかけてのヨーロッパが経験した大航海時代に求められる。アジアの富をめざして、まず、ポルトガルとスペインが競って探検・航海に乗り出し、これを機に、世界の一体化は進んでいったと考えられたのである。同時期にハプスブルク家支配下にあったスペインでは、マドリードを中心とした宮廷文化が開花した。積極的な海外進出はまた、17世紀以降の市民文化に新たな活力を与えたといわれる。

ポルトガル・スペインに続いて海外に進出したオランダは、ジャワ島のバタヴィアを拠点にして、日本などにも進出し銀や銅を得るなど、大きな利益を手にした。そのオランダの覇権を奪ったイギリスはフランスと争って、両国間の戦争は、もはやヨーロッパ内にとどまらず、植民地においてまで繰り上げられた。

19世紀のヨーロッパでは、世界の一体化がますます進み、産業革命と資本主義化が加速した。広大な海外市場を確保したイギリスでは、農業革命が起こった。また、交通網の整備拡大を進めた交通革命はヨーロッパを中心に、人の移動を促進した。都市人口が急増するなか、大規模な機械制工場が普及したため、この生産形態に対応した、より安価な労働力が求められ、女性や児童の労働が広がった。反対に、手工業者らが没落の一途をたどったことは、しばしば指摘されるところである。

資本主義の進展を背景に、人の移動は新たな労働の場を求めて起こることもあった。1840年代以降、ヨーロッパやアジアからアメリカ合衆国へ行く移民が増加したこともこうした文脈で理解できよう。しかし、アメリカ合衆国は1875年に移民法を制定して以来、徐々に移民の流入に制限を設ける政策を展開していった。

大規模な人の移動を誘発する原因の一つとして、戦争や紛争をあげることもできよう。二つの世界大戦はもとより、冷戦が本格化した20世紀後半においても戦争の火種は完全に消え去ることはなく、朝鮮戦争やベトナム戦争、さらには

アフリカ独立に伴う様々な内戦の結果、多くの難民が生まれた。同様の傾向は冷戦終結後も続き、たとえば、ユーゴスラヴィアの内戦にみられるように、多くの人々が住み慣れた土地を離れなければならなかった。<sup>(j)</sup>

確かに、1945年以後の世界では、安全保障を強化する国際体制の一つとして<sup>(k)</sup>国際連合が発足した。また、深刻化する貧困問題や様々な差別の問題を背景に、いろいろな領域で人権や平和を重視する活動や理念も模索されてきた。しかし、昨今のシリア難民の問題が示すとおり、人間の生きる権利を脅かす危機が生じている。こうした状況を背景に、人の移動の自由を域内に実現してきた<sup>(l)</sup>ヨーロッパ連合(EU)は、大きな試練の時を迎えている。難民受け入れの是非をめぐってEU加盟諸国とその周辺国の間で意見が分かれるなど、グローバリゼーションがもたらすもう一つの現実、人間の共生がいかに難しいかを如実に物語っているといえよう。

問 1 下線部(a)に関連する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. リスボンは、世界商業の中心として栄えた。
- B. ポルトガルは、アメリカ大陸でエンコミエンダ制をしいた。
- C. ラス=カサスは、先住民の奴隷化を推し進めた。
- D. マゼランは、西回りによる世界周航に成功した。

問 2 下線部(b)を代表する画家として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ブリューゲル
- B. ワトー
- C. ジョット
- D. ベラスケス

問 3 下線部(c)に関連する記述として、適切でないものを一つ選びなさい。

- A. 17世紀前半には、アムステルダムが金融や造船の中心地となった。
- B. オランダはウィーン会議で正式に独立を承認された。
- C. オランダ東インド会社はイギリスに対抗して設立された。
- D. アフリカ南端にはケープ植民地が建設された。



問 4 下線部(d)に関連して、ヨーロッパ内の戦争と植民地戦争の組み合わせとして適切でないものを一つ選びなさい。

- A. ファルツ継承戦争——カーナティック戦争
- B. 七年戦争——フレンチ＝インディアン戦争
- C. スペイン継承戦争——アン女王戦争
- D. オーストリア継承戦争——ジョージ王戦争

問 5 下線部(e)に関連する記述として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 新農法(ノーフォーク農法)により休耕地が設けられた。
- B. 大地主は牧羊のために四輪農法を推進した。
- C. 資本主義的な大農場経営が確立した。
- D. 農場領主制により都市部の労働者が増加した。

問 6 下線部(f)が自主的に仕事を休んだ慣習を何とよぶか。最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 「聖月曜日」
- B. 「聖木曜日」
- C. 「聖金曜日」
- D. 「聖土曜日」

問 7 下線部(g)の説明として、適切でないものを一つ選びなさい。

- A. アイルランドではジャガイモ飢饉が起き、大規模な死者が出た。
- B. カリフォルニアでの金鉱発見はゴールドラッシュを引き起こした。
- C. ベルリンやウィーンに続き、パリでは二月革命が起きた。
- D. マルクスとエンゲルスは『共産党宣言』を発表した。

問 8 下線部(h)に関連する記述として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 1924年の移民法により、日本人以外のアジア系移民はすべて禁止された。
- B. 中国系移民(「苦力(クーリー)」)は大陸横断鉄道の建設に従事した。
- C. 秘密結社クー=クラックス=克蘭(KKK)は、移民の規制に反対した。
- D. 1880年代以降、東欧や南欧からの移民が減少した。

問 9 下線部(i)に関連して、この時期の出来事(あ)~(え)を起きた順に並べたものを一つ選びなさい。

- (あ) ベルリンの壁が建設された。
- (い) アメリカ、イギリス、ソ連の3ヶ国の間で、部分的核実験禁止条約が調印された。
- (う) チェコスロヴァキアでは、ドブチェク政権が誕生した。
- (え) ポーランドのポズナニで、民主化を求める抗議行動が発生した。

- A. (あ)→(う)→(え)→(い)
- B. (え)→(あ)→(い)→(う)
- C. (い)→(う)→(あ)→(え)
- D. (え)→(い)→(う)→(あ)

問10 下線部(j)に関連して、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. チャウシェスクが処刑された。
- B. NATOが国連決議なしにクロアチアを空爆した。
- C. セルビアとコソヴォ自治州は新ユーゴスラヴィアを結成した。
- D. ミロシェヴィッチが国際戦犯裁判にかけられた。

問11 下線部(k)に関連して、国際連合の下部機関の日本語名称と略称との組み合わせが適切でないものを一つ選びなさい。

- A. 国際通貨基金——IMF
- B. 国際連合教育科学文化機関——UNCTAD
- C. 世界貿易機関——WTO
- D. 国際労働機関——ILO

問12 下線部(l)の説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)の原加盟国は、フランス、西ドイツ、イギリス、オランダ、ルクセンブルク、ベルギーの6ヶ国であった。
- B. ヨーロッパ共同体(EC)は、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)、ヨーロッパ経済共同体(EEC)、ヨーロッパ原子力共同体(EURATOM)の3つの組織が統合してつくられた。
- C. ヨーロッパ連合(EU)の全加盟国は、域内統一通貨であるユーロを導入済みである。
- D. ヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)は、イタリア主導で結成された。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

ロシア革命は、史上初の社会主義革命とされる。それは第一次世界大戦下の<sup>(a)</sup>  によって拡大した社会矛盾から勃発したものであるが、ロシア一国にとどまらず、20世紀の国際社会へさまざまな影響を及ぼした。

まず、第一次世界大戦は東部戦線が消滅し、急展開を遂げて収束へ向かう。第一次世界大戦の勃発を資本主義が高度に発展した帝国主義の産物にとらえ、戦争を内乱に転化しようとする  <sup>(b)</sup> の主張は、欧米各国に広がることになる。ロシア革命の影響を受けて、大戦末期から大戦終結後にかけて、各地で革命や労働運動が勃発した。<sup>(c)</sup> さらにロシアの新政権は、帝政ロシアの秘密条約を暴露し、<sup>(d)</sup> アラブの民族運動に衝撃を与えている。

一方、ロシア革命を危険視する各国がロシアへの侵攻を始めると、革命政権はこれに対し中国へ向けて  <sup>(e)</sup> を発するなど、列強に抑圧された国家・民族の側に立つ姿勢を示した。中国をはじめとするアジア諸地域では、これを受けて、社会主義を  <sup>(f)</sup> の手段として受け入れようとする動きが広がる。ロシアは  <sup>(g)</sup> を設立し、各地にその支部を組織するとともに、共産党と連携する民族主義勢力の支援も進める。

中国においては、1919年、五四運動における大衆運動の力を目の当たりにした孫文が、中華革命党を中国国民党と改称していた。孫文は  <sup>(h)</sup> の働きかけに応じ、党を改組して新たな政策を打ち出す。国民党は、このうち中国の民族主義運動を牽引していくことになる。もっとも、 <sup>(i)</sup> の方針はしばしばインターナショナリズムよりソヴィエト連邦の利害を優先し、またソ連共産党内の権力闘争の影響を受けた。

その他のアジア諸地域や、第二次世界大戦後のアフリカやラテンアメリカにおいても、社会主義は植民地支配に抵抗するよりどころとして一定の影響力を持ち、独立後は、ソ連をモデルとした社会主義国家がめざされた。だが、冷戦体制下で、社会主義諸国はソ連に従属することになり、これらの国で起きた民主化・自由化の動きにソ連が軍事介入する事態も生じた。<sup>(j)</sup> ソ連自体の体制が硬直化し、

ついには解体するに至って、社会主義の影響力は減退したのである。資本主義が高度化し、グローバリゼーションの名の下に、富の偏在が地球規模で進行する現在、ロシア革命とソ連の試みは何であったのか改めて問う必要がある。

問 1 空欄(ア)～(オ)に入る語句として、最も適切なものをそれぞれ一つ選びなさい。

(ア)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| A. 総力戦体制    | B. 植民地支配  |
| C. パン＝スラヴ主義 | D. 戦時共産主義 |

(イ)

- |           |          |
|-----------|----------|
| A. スターリン  | B. トロツキー |
| C. ケレンスキー | D. レーニン  |

(ウ)

- |             |          |
|-------------|----------|
| A. カラハン宣言   | B. 新経済政策 |
| C. 土地に関する布告 | D. 四月テーゼ |

(エ)

- |        |        |         |         |
|--------|--------|---------|---------|
| A. 独裁化 | B. 民主化 | C. 殖産興業 | D. 民族解放 |
|--------|--------|---------|---------|

(オ)

- |            |              |
|------------|--------------|
| A. コメコン    | B. コミンテルン    |
| C. コミンフォルム | D. ワルシャワ条約機構 |

問 2 下線部(a)について、(あ)～(え)のできごとを起きた順に並べたものを一つ選びなさい。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| (あ) ニコライ 2 世の処刑    | (い) レーニンの帰国        |
| (う) 二月(三月)革命       | (え) 十月(十一月)革命      |
| A. (う)→(い)→(あ)→(え) | B. (い)→(う)→(あ)→(え) |
| C. (う)→(い)→(え)→(あ) | D. (い)→(う)→(え)→(あ) |

問 3 下線部(b)に関連する記述として、正しいものを一つ選びなさい。

- A. ロシア軍は、同盟国軍に合流して、西部戦線で戦った。
- B. ドイツのブレストとロシアのリトフスクによって、条約が結ばれた。
- C. ロシアは、協商国の合意のもとドイツと停戦した。
- D. ロシアは、「平和に関する布告」によって講和方針を明示した。

問 4 下線部(c)に関連する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. ドイツでは、労働者や兵士の評議会が結成された。
- B. ハンガリーでは、一時、共産党政権が誕生した。
- C. オーストリアでは、キール軍港で水兵が蜂起した。
- D. イタリアでは、労働者運動に対抗してファシスト党が発展した。

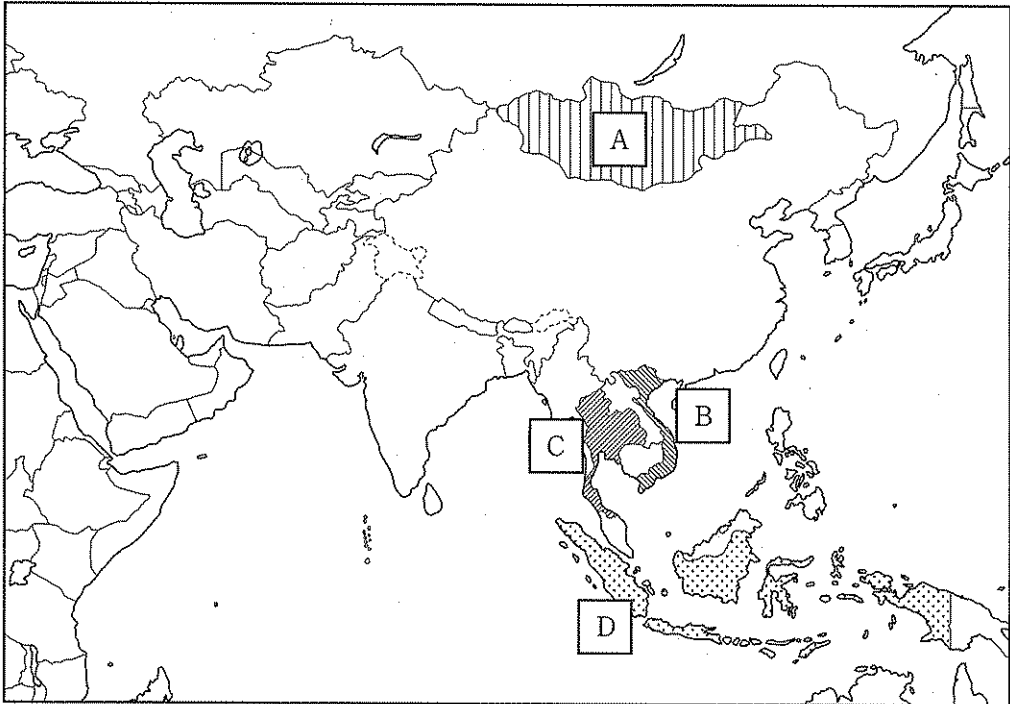
問 5 下線部(d)について、アラブへ衝撃を与えた秘密条約を一つ選びなさい。

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| A. サイクス・ピコ協定 | B. フサイン・マクマホン協定 |
| C. ロンドン秘密条約  | D. バルフォア宣言      |

問 6 下線部(e)に関連して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 農民運動や労働運動に対する支援
- B. 中国共産党員の国民党への加入
- C. 共産主義社会の実現
- D. ソヴィエト連邦との提携

問 7 下線部(f)に関連して、現在に至るまで共産党が政権を保持している国を地図から一つ選びなさい。



問 8 下線部(g)のできごととして最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 天安門事件
- B. キューバ危機
- C. ハンガリー事件
- D. アフガニスタン侵攻

問 9 下線部(h)の事態の一端を示す文書が、2016年、ある国から流出し、その内容が各国に衝撃を与えた。その国名を一つ選びなさい。

- A. モナコ
- B. ヴァチカン
- C. スイス
- D. パナマ

